

日本の子どもの未来を考える研究会 第1回 シンポジウム

現在日本では、貧困、虐待、社会的養護、子育て不安、発達障害の増加など、困り感のある子どもたちや家族が増えています。しかし、支援がほしいと思っても相談する場、支援の場、行政の窓口や制度もバラバラで、誰にどこに相談したらいいか、相談につながっても支援がなかったり、なかなか解決の糸口がみつからず、現実に疲れて途方に暮れてしまう子どもと親がいます。このような課題を解決して、すべての日本の子どもたちとその家族が、みんな安心して幸せに暮らすための相談、支援、行政、制度、連携は、どうあったらいいのでしょうか。みなさんと一緒に考える機会にしたいと思います。

プログラム

13:00 始まりの挨拶 ～たてわりのシステムを越えて手をつなごう
すべての子どもたちのために～
〈日本の子どもの未来を考える研究会 事務局〉

13:20 基調講演
「すべての子どもが日本の子どもとして大切に守られるために」
講師 柏女 霊峰
(淑徳大学教授)

14:20 シンポジウム
子ども・子育て 古 渡 一 秀 (全国認定こども園協会副代表理事)
社会的養護 藤 野 興 一 (全国児童養護施設協議会会長)
障害児関係 光 真 坊 浩 史 (江東区子ども発達センター園長)
里親関係 藤 井 康 弘 (前厚生労働省社会・援護局障害福祉部長)
助言者 柏 女 霊 峰 (淑徳大学教授)
司 会 北 川 聡 子 (日本の子どもの未来を考える研究会副座長
・社会福祉法人麦の子会)

15:50 終わりの挨拶

平成29年 2月11日(祝・土)

13:00～16:00 (12:30開場)

会場 日本財団 2階 大会議室
東京都港区赤坂1丁目2番2号
日本財団ビル

主催：日本の子どもの未来を考える研究会
座長 淑徳大学教授 柏女 霊峰
副座長 (福) 麦の子会総合施設長 北川 聡子

協力：日本財団

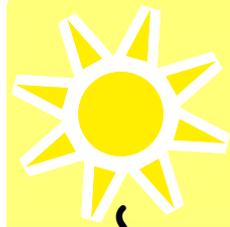
参加費：大人1名 500円

お申し込み：下記の「お問合せ」先に、氏名(複数可)・職種・経験年数・
所属・所属住所・連絡先を明記し、FAXまたはメール
で申込み下さい。(担当：笠井・鈴木)

お問合わせ：日本の子どもの未来を考える研究会 事務局

〒007-0836 札幌市東区北36条東9丁目1番1号
(福) 麦の子会 内

TEL (011) 733-9251 FAX (011) 769-0847
email: muginoko@muginoko.com



子ども・子育て施策・社会的養護施策・障害児施策の垣根を越えて
妊娠期から子育て期までの相談連携と子ども家庭福祉のあり方を考える

すべての子どもが日本の子どもとして
大切に守られるために



申し込み用紙

ふりがな 名前	職種	経験年数
ふりがな 名前	職種	経験年数
ふりがな 名前	職種	経験年数
住所		
所属	事業所区分（記入例：里親、障害児関係、こども園、など）	
TEL	FAX	E-mail
質問事項等		

※経験年数は、子ども(児童)の発達支援経験を記入してください。

FAX : 011-769-0847
E-mail : muginoko@muginoko.com

締め切り：平成29年2月3日(金)

《 アクセス 》



◆地下鉄

東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」

<バリアフリールート>3番出口よりエレベーターで地上まで上がり、外堀通りを溜池山王方面に直進。JT本社ビル前の信号を渡って正面。徒歩5分。

<バリアフリールート>11番出口よりエレベーターで地上まで上がり、溜池山王方面に直進。特許庁前の信号を外堀通りを横断。徒歩5分。

東京メトロ 南北線・銀座線「溜池山王駅」

9番出口より出て、首都高速のガード下の信号を渡り直進。徒歩5分。

<バリアフリールート>7番出口は地上までのエレベーターあり。

東京メトロ 丸の内線・千代田線「国会議事堂前駅」

3番出口より首相官邸前を左方向に直進。徒歩5分。特許庁側の歩道に階段あり。

<バリアフリールート>丸の内線側2番出口は地上までのエレベーターあり。

◆JR東京駅から

東京メトロ 丸の内線に乗換え→「国会議事堂前駅」(駅間所要時間7分)

*お越しの際には、公共交通機関をご利用くださいますよう、お願いします。

日本の子どもの未来を考える研究会とは・・・

地域には、さまざまな困り感を抱える子どもと家族が暮らしています。

子育てで不安・貧困・DV・虐待・発達障害・医療ケアニーズ・不登校・いじめ・非行・親の精神疾患など多様化しています。しかし、子どもの困り感は、家庭の孤立や福祉サービスの不足や連携のなさなど、底辺でつながっています。様々な相談機関がバラバラになっている状況に対して、それぞれの専門性を活かして横断的なつながりの中で連携して、子どもと家族を支える新たな仕組みを考え、つくり上げようとしている研究会です。

【研究会メンバー】

[座長] 柏女霊峰(淑徳大学教授)、[副座長] 北川聡子(社会福祉法人麦の子会)、[子ども子育て] 古渡一秀(全国認定こども園協会副代表理事)、村松幹子(全国保育士会副会長)、[医療] 米山明(心身障害児総合医療療育センター外来療育部長)、[社会的養護] 長谷川寛治(日本ファミリーホーム協議会副会長)、藤野興一(鳥取こども学園:全国児童養護施設協議会会長)、片桐弥生(山形学園:全国児童養護施設協議会)、[障害児] 光真坊浩史(江東区こども発達センター園長)、岡崎俊彦(奥中山学園園長)、湯浅民子(ひまわり学園園長)、[里親支援] 渡辺守(NPO法人キアセット)、[マスコミ関係] 新井直之(NHK大阪ディレクター)、[学識経験者] 大塚晃(上智大学教授)、佐藤まゆみ(和洋女子大学准教授)、新保幸男(神奈川県立保健福祉大学教授)、[オブザーバー] 藤井康弘(前厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長)、大西延秀(前厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室室長補佐)、加藤正仁(CDS JAPAN会長)、青木建(国立武蔵野学院院長)、[アドバイザー] 田中哲(東京都立小児総合医療センター副院長)